

# ガス灯に着目した文明開化

実践報告



杉並区立天沼小学校  
新宅 直人

## 事前準備(実験器具は隠しておく)



## 授業の導入は「童戯百人一首」からのクイズ

←	←	光はあれど おく霜の 白きを見れば 夜ぞ更けにける
←	←	光を照らす雇人 昼は消えつつ 物をこそ思へ
←	←	いまだ開けぬ世の中は 恋しかるべき夜半の月かな
←	←	光ぞ今は頼みなる 雲かくれにし 夜半の月かな

## 「瓦斯灯」の正解が出なかったので「点消方」についてクイズ



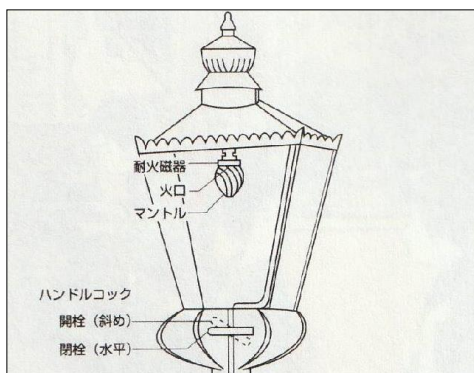
# 『文明開化童戯百人一首』の紹介

鐵道をよそめに 陸をゆく人ハ  
 いかにひさしき ものとかハしる  
 一右大臣道綱母

風船で 空の窮理をおもふとも  
 人の命の惜しくも あるかな  
 一右近

## 《明治維新》

ガス灯によって、人々の暮らしや町の様子は  
 どのように変わったのだろうか。



# 江戸時代までの照明

ろうそく



行燈(あんどん)



提灯(ちょうちん)



# ガス灯の明るさを体感しよう

ろうそく



ガス灯(裸火)



ガス灯(マントル付き)



## 3種類の明かりの実験



## ガス灯について調べよう

明治時代のガス灯を調べる3つの視点！

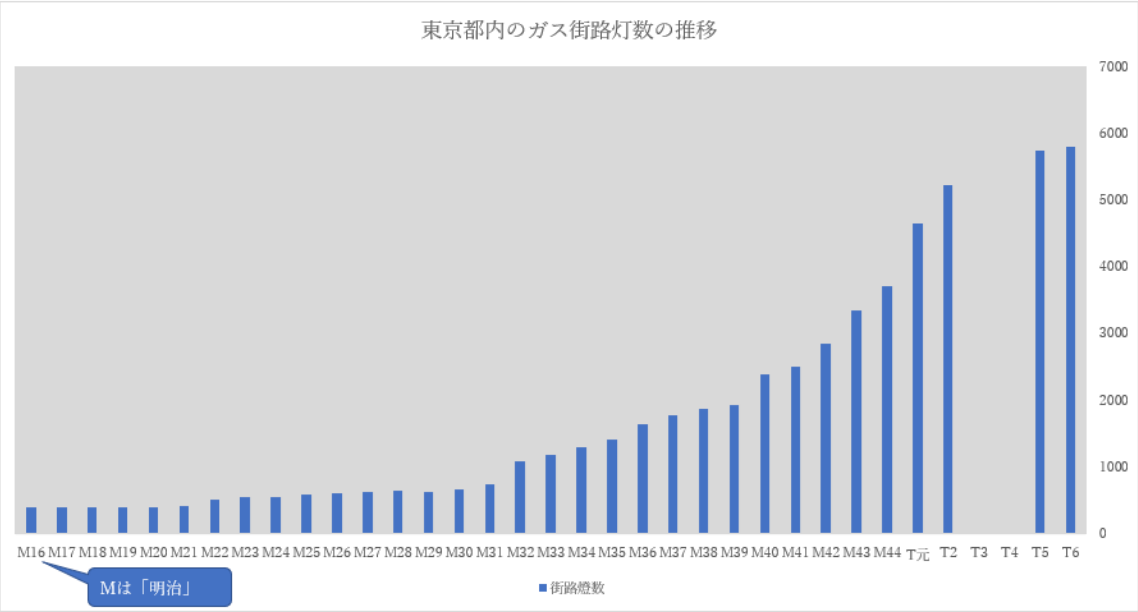
- ・いつ(時間)
- ・どこで(場所)
- ・だれが(人物)

班の中で分担して  
調べよう！

# 時期や時間の流れに着目した資料

## 日本のガス灯に関する出来事

明治 5 年	(1872年)	横浜に十数基のガス灯が立てられる。この年の終わりには横浜のガス灯は500基にもなった。
明治 7 年	(1874年)	東京の金杉橋から京橋の間にガス灯が立てられる。
		神戸でもガス灯が立てられるが外国人が住んでいたエリアだけだった。
明治 8 年	(1875年)	東京のガス灯が増えていき、万世橋や浅草橋の方まで整備されていった。
明治 9 年	(1876年)	東京府瓦斯局が開局する。
明治 10 年	(1877年)	第1回内国勲業博覧会で「花ガス」が展示された。花ガスというのは、文字や図をガスの炎で表したイルミネーション。
明治 13 年	(1880年)	ガス灯が屋外だけでなく、家の中でも多く使われ始める。
明治 14 年	(1881年)	万世橋から上野にまでガス灯が整備されていく。東京のガス灯が400本を超える。
明治 18 年	(1885年)	東京瓦斯会社ができる。(現在の東京ガス)
明治 22 年	(1889年)	東京のガスの1日の生産量が20万立方フィートに達する。
明治 27 年	(1894年)	横浜駅などのガス灯でマンテルが使われ始める。
大正 4 年	(1915年)	ガス灯の数がピーク(最も多い時期)になる。この後、少しずつ電灯に代わっていく。
大正 12 年	(1923年)	関東大震災で東京のガス灯も大打撃を受ける。これにより、ほとんどの明かりが電灯になる。しかし、この後もガスは熱を生み出す燃料として活躍していく。





## どこで？（空間の広がりに着目した資料）

この中に何本のガス灯があるか数える。

（密度に驚く）

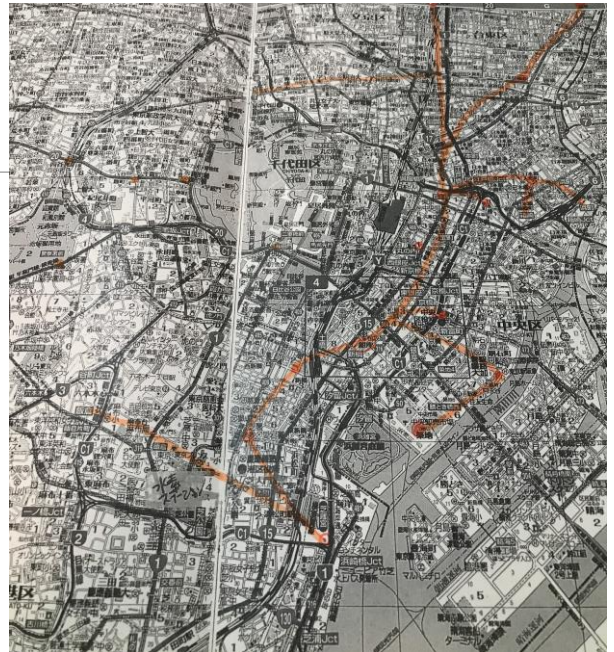
（しかし、「日本全国がそうなのか？」という疑問も生じる。）



東京瓦斯株式会社（現東京瓦斯株式会社）が、明治28年（1895年）に、東京市街にガス管を敷設し、ガス灯を点灯した。この地図は、当時の東京市街のガス管の敷設範囲を示している。地図には、東京市街の主要な道路と、ガス管の敷設範囲が示されている。また、ガス灯の位置も示されている。この地図は、東京市街のガス管の敷設範囲を示している。また、ガス灯の位置も示されている。この地図は、東京市街のガス管の敷設範囲を示している。また、ガス灯の位置も示されている。

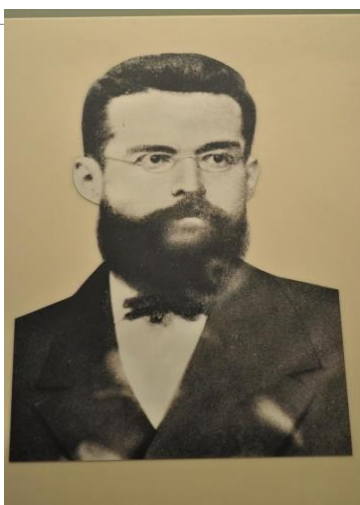
当時のガス管が通っていた範囲を  
現在の地図に表したもの

（範囲の狭さが分かる！）



## 人物の働きに着目する資料(それぞれの業績についての文章資料を用意)

高島嘉右衛門 アンリ・プレグラン 渋沢栄一

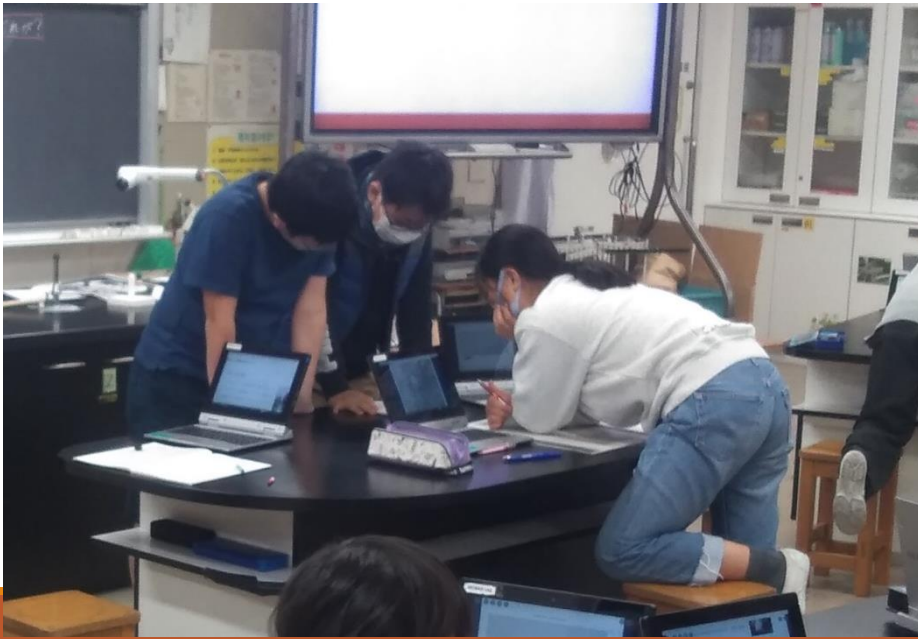


## グループ内で分担して調べ学習





## 調べてわかったことを他のメンバーと共有



## 町の様子はどのように変わったのか



東京名所之内 新橋停車場之夜景 葛西虎次郎<明治35(1902)年 石版画>

# 人々のくらしはどのように変わったか



井上安治「銀座商店夜景」



歐洲管弦樂合奏之図 楊洲周延<明治22(1889)年 木版画>

## 当時の人々の反応

**横浜では・・・**

「キリシタンの魔法」

「高島さんが異人(外国人)と手を組んで日本を乗っ取るたくらみ」

「恐ろしく思っ、明るいとか便利なものだなどと思うひまはなかった」

**東京は・・・**

「東京会議所がかってに建てたもの」として、無関心だった。

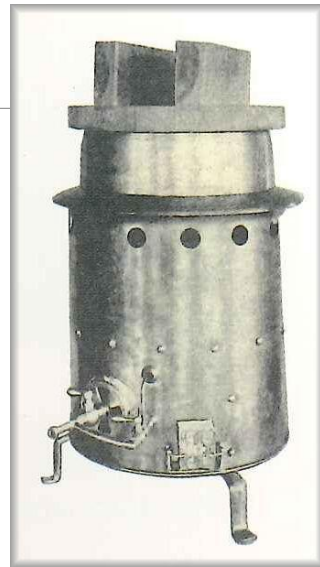
「月の明るい夜にまでガス灯を点けるのはおかしい」と言う人もいた。

## その後のガス灯は・・・

1923年 関東大震災



「ガスかまど」



## 今日の学習のまとめ

- ☆明治時代、ガス灯ができたことにより町が明るくなった。
- ☆建物などの西洋化が進んだことでガス灯もたくさん求められた。
- ☆人々は夜でも外を歩いたり買い物しやすくなった。



